

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15**1. 化学品及び会社情報**

製品名 : MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

製品番号 : 06543588001

供給者情報

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70
1080075
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:
緊急連絡先: : カスタマーソリューションセ
ンター
0120-600-152**推奨用途及び使用上の制限**

使用上の制限 : 専門ユーザー向け。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

2. 危険有害性の要約**GHS 分類**

本製品は複数の構成試薬からなるキット製品です。危険有害性の要約にはキット製品としてのGHS分類結果を記載しています。各構成試薬成分の情報は組成及び成分情報を参照ください。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H302 + H332 飲み込んだり, 吸入すると有害。
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H334 吸入するとアレルギー, ぜん(喘)息又は呼吸困難を起
こすおそれ。
H350 発がんのおそれ。
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
H370 臓器(中枢神経系, 全身毒性)の障害

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

H372 長期にわたる、又は反復暴露による臓器（肝臓）の障害。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（中枢神経系）の障害のおそれ
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

安全対策:

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P210 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P240 容器を接地すること/アースをとること。
P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P284 (換気が不十分な場合)呼吸用保護具を着用すること。

応急措置:

P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
P304 + P340 + P310 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

P370 + P378 火災の場合：消火するために乾燥砂，粉末消火剤（ドライケミカル）または耐アルコール性フォームを使用すること。

保管:

P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報**Wash Buffer I (WB I)****GHS 分類**

引火性液体	:	区分 3
急性毒性 (経口)	:	区分 4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	:	区分 2
発がん性	:	区分 1A
生殖毒性	:	区分 1A
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	:	区分 3 (気道刺激性, 麻酔作用)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	:	区分 1 (肝臓)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	:	区分 2 (中枢神経系)

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
塩酸グアニジン	50-01-1	>= 40 - < 50	
エタノール	64-17-5	>= 20 - < 30	2-202

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

 版番号
1.4

 改訂日:
2019/08/12

 前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

Lysis/Binding Buffer
GHS 分類

急性毒性 (経口)	: 区分 4
急性毒性 (吸入)	: 区分 4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分 1
眼に対する重篤な損傷性又は 眼刺激性	: 区分 1
水生環境有害性 (急性)	: 区分 3
水生環境有害性 (長期間)	: 区分 3

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
グアニジンチオシアナート	593-84-0	>= 40 - < 50	
ポリ (オキシエチレン) = (1, 1, 3, 3-テトラメチルブチ ル) フェニル=エーテル	9002-93-1	20	(7)-172

Proteinase K (PK)
GHS 分類

呼吸器感作性	: 区分 1
皮膚感作性	: 区分 1

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
プロテイナーゼ K	39450-01-6	>= 1 - < 10	11-(4)-792

Elution Buffer
GHS 分類

GHS 分類基準に該当しない。

成分

本製品は、日本の法令で定められている化学物質、あるいは GHS に準拠して分類されるカットオフ値以上の化学物質は含有しない。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

Wash Buffer III

GHS 分類

GHS 分類基準に該当しない。

成分

本製品は、日本の法令で定められている化学物質、あるいは GHS に準拠して分類されるカットオフ値以上の化学物質は含有しない。

Magnetic Glass Particles (MGPs) Suspension

GHS 分類

引火性液体 : 区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は
眼刺激性 : 区分 2

生殖毒性 : 区分 2

特定標的臓器毒性 (単回ばく
露) : 区分 1 (中枢神経系, 全身毒性)

特定標的臓器毒性 (単回ばく
露) : 区分 3 (麻酔作用)

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
プロパン-2-オール	67-63-0	>= 90 - <= 100	2-207 2-(8)-319

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。
医師に相談する。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。
新鮮な空気のある場所に移動する。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚腐食による傷は直ちに治療処置を行ってください。時間
が経つと治癒が遅れて回復が難しくなります。
皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

- 眼に入った場合 : 少量が目にはねて入った場合、取り返しの付かない組織破壊と失明を引き起こす可能性がある。
眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の手当てを受ける。
病院に運ぶ間にも、眼を洗浄し続けてください。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。
無理に吐かせないこと。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
直ちに被災者を病院に連れて行く。
口を水ですすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報無し。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO₂)
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 有害燃焼副産物 : 火災の際、次のような有害分解が起こる可能性がある:
炭素酸化物
窒素酸化物 (NO_x)
硫黄酸化物
シアン化水素 (青酸)
- 特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
火災時の安全上の理由から、缶をそれぞれ別々に保管する密閉容器を水スプレーで完全に冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
十分な換気を確保する。
付近の発火源となるものを取り除く。
安全な場所に避難する。
項目 7 および 8 に記載した保護措置を参照する。
蒸気がたまと爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、バーミキュライト等）を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる（項目 13 を参照）。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 火災及び爆発の予防 : 火炎や白熱物質に向けてスプレーしてはいけない。
静電気放電（有機物の蒸気を発火させる場合あり）を防止するために必要な処置をとる。
防爆装置でのみ使用する。
炎、熱および発火源から遠ざける。

- 安全取扱注意事項 : エアゾールの発生を避けること。
蒸気/粉塵を吸い込まない。
曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。
皮膚や眼への接触を避けること。
個人保護については項目 8 を参照する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
静電気放電に対して予防処置手段をとること。
作業室の換気や排気を十分に行う。
内部が陽圧になっていることがあるので、ふたを開ける場合には、慎重に行う。
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
皮膚感作性並びに喘息、アレルギー、慢性または反復性の呼吸器疾病を有する人は、この製剤を使用するすべての工程に従事しないことが望ましい。
リークまたはこぼれた物質の拡散を防ぐため、適切な液体保持のシステムを用意する。

- 接触回避 : アルミニウム
酸化剤
アルカリ金属
アルカリ土類金属

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15鉄
アミン
過酸化物
酸類
次亜塩素酸ナトリウム
シアン化物衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。
休憩前や終業時には手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 禁煙。
容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためま
っすぐ立てておく。
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければ
ならない。

保管安定性に関する詳しい情 報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

8. ばく露防止及び保護措置

Wash Buffer I (WB I)

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
Ethanol	64-17-5	STEL	1,000 ppm	ACGIH

Lysis/Binding Buffer

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

Proteinase K (PK)

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
プロテイナーゼ K	39450-01-6	IOEL	0.00006 mg/m ³	Roche Industrial Hygiene Committee (RIHC)

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

Elution Buffer

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

Wash Buffer III

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

Magnetic Glass Particles (MGPs) Suspension

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
プロパン-2-オール	67-63-0	ACL	200 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-C	400 ppm 980 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		TWA	200 ppm	ACGIH
		STEL	400 ppm	ACGIH

生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
2-Propanol	67-63-0	Acetone	Urine	End of shift at end of work-week	40 mg/l	ACGIH BEI

設備対策 : データなし

保護具

呼吸用保護具 : 蒸気を形成する場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。

手の保護具

材質 : 保護手袋

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

- 眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル
プロセス中に異常が起きた場合は、顔面シールドと保護服を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性衣服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

Wash Buffer I (WB I)

- 外観 : 液体
- 色 : 無色
- 臭い : 特徴的
- 臭いのしきい(閾)値 : データなし
- pH : 6.6 (25 ° C)
- 融点/ 範囲 : データなし
- 沸点/ 沸騰範囲 : データなし
- 引火点 : 29 ° C
- 蒸発速度 : データなし
- 自己発火 : 425 ° C
- 爆発範囲の上限 / 可燃上限値 : データなし
- 爆発範囲の下限 / 可燃下限値 : データなし
- 蒸気圧 : 43 hPa
- 相対蒸気密度 : データなし
- 比重 : データなし
- 密度 : 1.057 g/cm³
- 溶解度

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

水溶性	:	完全に混和性である
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数	:	備考: データなし
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし
粘度	:	
粘度(粘性率)	:	データなし
動粘度(動粘性率)	:	データなし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。

Lysis/Binding Buffer

外観	:	液体
色	:	無色
臭い	:	なし
臭いのしきい(閾)値	:	データなし
pH	:	6.0 - 7.0
融点/ 範囲	:	データなし
沸点/ 沸騰範囲	:	データなし
引火点	:	データなし
蒸発速度	:	データなし
燃焼性(固体、気体)	:	この製品は GHS 分類の可燃性ではない。
可燃性(液体)	:	燃焼を持続しない。
自己発火	:	データなし
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	:	データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
相対蒸気密度	:	データなし
比重	:	データなし

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

溶解度		
水溶性	:	完全に混和性である
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数	:	備考: データなし
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	有害な分解生成物が火があるとき生成される。
粘度		
粘度(粘性率)	:	データなし
動粘度(動粘性率)	:	データなし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。

Proteinase K (PK)

外観	:	液体
色	:	透明, 無色
臭い	:	極めて僅か
臭いのしきい(閾)値	:	データなし
pH	:	7.5
融点/ 範囲	:	データなし
沸点/ 沸騰範囲	:	データなし
引火点	:	データなし
蒸発速度	:	データなし
可燃性(液体)	:	この製品は GHS 分類の可燃性ではない。 燃焼を持続しない。
自己発火	:	データなし
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	:	データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
相対蒸気密度	:	データなし
比重	:	データなし

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

密度	:	1.126 g/cm ³
溶解度	:	
水溶性	:	完全に混和性である
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数	:	備考: データなし
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし
粘度	:	
粘度(粘性率)	:	データなし
動粘度(動粘性率)	:	データなし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。

Elution Buffer

外観	:	液体
色	:	無色
臭い	:	なし
臭いのしきい(閾)値	:	データなし
pH	:	5 - 9
融点/ 範囲	:	データなし
沸点/ 沸騰範囲	:	データなし
引火点	:	データなし
蒸発速度	:	データなし
自己発火	:	データなし
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	:	データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
相対蒸気密度	:	データなし
比重	:	データなし

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

溶解度		
水溶性	:	完全に混和性である
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数	:	備考: データなし
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし
粘度		
粘度(粘性率)	:	データなし
動粘度(動粘性率)	:	データなし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。

Wash Buffer III

外観	:	液体
色	:	無色
臭い	:	なし
臭いのしきい(閾)値	:	データなし
pH	:	4.0
融点/ 範囲	:	データなし
沸点/ 沸騰範囲	:	データなし
引火点	:	データなし
蒸発速度	:	データなし
燃焼性(固体、気体)	:	この製品は GHS 分類の可燃性ではない。
可燃性(液体)	:	燃焼を持続しない。
自己発火	:	データなし
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	:	データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
相対蒸気密度	:	データなし
比重	:	データなし

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

溶解度		
水溶性	:	完全に混和性である
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数	:	備考: データなし
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし
粘度		
粘度(粘性率)	:	データなし
動粘度(動粘性率)	:	データなし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。

Magnetic Glass Particles (MGPs) Suspension

外観	:	懸濁液
色	:	黒色
臭い	:	強い
臭いのしきい(閾)値	:	データなし
pH	:	データなし
融点/ 範囲	:	-89 ° C
沸点/ 沸騰範囲	:	82 ° C
引火点	:	12 ° C
蒸発速度	:	データなし
自己発火	:	485 ° C
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	:	12 %(V)
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	:	2 %(V)
蒸気圧	:	42 hPa (20 ° C)
相対蒸気密度	:	データなし
比重	:	データなし
密度	:	0.78 g/cm ³

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

溶解度		
水溶性	:	部分的混和性である
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数	:	備考: データなし
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	有害な分解生成物が火があるとき生成される。
粘度		
粘度(粘性率)	:	データなし
動粘度(動粘性率)	:	データなし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。

10. 安定性及び反応性

反応性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	:	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	:	下記の物質と反応する: アルカリ金属 アルカリ土類金属 酸化剤 アミン 硝酸 アルデヒド類 鉄 アルミニウム ハロゲン化水素 次の物質に触れると有毒ガスが放出されることある: 次亜塩素酸ナトリウム 酸類 過酸化剤と激しく反応する。 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 蒸気は空気と爆発性混合物を形成することがある。
避けるべき条件	:	熱、炎、火花。
混触危険物質	:	アルミニウム 酸化剤 アルカリ金属 アルカリ土類金属 鉄 アミン

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

過酸化合物
酸類
次亜塩素酸ナトリウム
シアン化物

危険有害な分解生成物 : 有害な分解生成物が火があるとき生成される。
加熱すると危険なガスが発生することがある。
火災の際、次のような有害分解が起こる可能性がある:
炭素酸化物
窒素酸化物 (NOx)
硫黄酸化物
シアン化水素 (青酸)

11. 有害性情報

Wash Buffer I (WB I) 急性毒性

飲み込むと有害。

成分:

塩酸グアニジン:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 475 mg/kg

LD50 経口 (マウス): 571 mg/kg

LD50 経口 (ラット): 1,120 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット, メス): 3.2 mg/l

曝露時間: 4 h

試験環境: ダスト/噴霧

LC50 (ラット, オスおよびメス): 5.3 mg/l

曝露時間: 4 h

試験環境: ダスト/噴霧

LC50 (ラット, オス): 7.7 mg/l

曝露時間: 4 h

試験環境: ダスト/噴霧

急性毒性 (経皮) : LD50 経皮 (ウサギ): > 2,000 mg/kg

エタノール:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 7,060 mg/kg

LD50 経口 (マウス): 3,450 mg/kg

LD50 経口 (ラット): 10,470 mg/kg

方法: OECD 試験ガイドライン 401

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): 20000 ppm
曝露時間: 10 h
試験環境: 蒸気

LC50 (マウス): 39 g/m3
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気

LC50 (ラット): 124.7 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気
方法: OECD 試験ガイドライン 403

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激。

成分:**塩酸グアニジン:**

種 : ウサギ
結果 : 皮膚に刺激性。

エタノール:

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚刺激なし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

強い眼刺激。

成分:**塩酸グアニジン:**

種 : ウサギ
結果 : 眼に刺激性。

エタノール:

種 : ウサギ
結果 : 眼に刺激性。
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

呼吸器感作性又は皮膚感作性**皮膚感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15**成分:****塩酸グアニジン:**

アセスメント : 動物実験では感作性なし。

エタノール:種 : モルモット
方法 : OECD 試験ガイドライン 406
結果 : 動物実験では感作性なし。**生殖細胞変異原性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**塩酸グアニジン:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : エームズ試験において変異原性無し。

エタノール:in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験
方法: OECD 試験ガイドライン 476
結果: 陰性試験タイプ: in vitro 染色体異常試験
結果: 異なる試験で矛盾する結果が得られている。**発がん性**

発がんのおそれ。

生殖毒性

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

成分:**エタノール:**

胎児の発育への影響 : 発生毒性: NOAEL: 5, 200 mg/kg 体重

特定標的臓器毒性, 単回ばく露呼吸器への刺激のおそれ。
眠気又はめまいのおそれ。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

長期にわたる、又は反復暴露による臓器（肝臓）の障害。

長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（中枢神経系）の障害のおそれ

反復投与毒性

成分:

エタノール:

種	: ラット, オス
LOAEL	: 3156 mg/kg
投与経路	: 経口
曝露時間	: 90
方法	: OECD 試験ガイドライン 408

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

詳細情報

製品:

備考 : 溶剤は皮膚を脱脂することがある。

Lysis/Binding Buffer 急性毒性

飲み込んだり、吸入すると有害。

成分:

グアニジンチオシアナート:

急性毒性（経口） : LD50 経口 (ラット): 593 mg/kg
症状: 嘔吐

急性毒性（吸入） : 急性毒性推定値: 1.5 mg/l
試験環境: ダスト/噴霧
方法: 専門家の判断

急性毒性（経皮） : 急性毒性推定値: 1,100 mg/kg
方法: 専門家の判断

ポリ（オキシエチレン） = （1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル）フェニル=エーテル:

急性毒性（経口） : LD50 経口 (ラット): 1,900 - 5,000 mg/kg

急性毒性推定値: 500 mg/kg
方法: 専門家の判断

急性毒性（経皮） : LD50 経皮 (ウサギ): > 3,000 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

重度の火傷を起こす。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15**成分:****グアニジンチオシアナート:**

結果 : 火傷を起します。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

重篤な眼の損傷。

成分:

ポリ(オキシエチレン) = (1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル) フェニル=エーテル:

結果 : 眼に重傷のおそれ。

備考 : 眼に永久的な損傷が起こることがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性**皮膚感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**グアニジンチオシアナート:**

備考 : この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性がある、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

Proteinase K (PK)急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15**成分:****プロテイナーゼ K:**結果 : 皮膚に刺激性。
備考 : 皮膚に刺激/皮膚炎を起すことがある。**眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**プロテイナーゼ K:**結果 : 眼に刺激性。
備考 : 眼に永久的な損傷が起こることがある。**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

呼吸器感作性

吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

成分:**プロテイナーゼ K:**アセスメント : 皮膚に触れると感作を起すことがある。
備考 : 感作を起す。
: 吸入による感作発生の可能性。**生殖細胞変異原性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**プロテイナーゼ K:**

アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15**成分:****プロテイナーゼ K:**

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**プロテイナーゼ K:**

データなし

***Elution Buffer* 急性毒性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性**皮膚感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

***Wash Buffer III* 急性毒性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

 版番号
1.4

 改訂日:
2019/08/12

 前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性
皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

***Magnetic Glass Particles (MGPs) Suspension* 急性毒性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:
プロパン-2-オール:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 4,570 mg/kg

LD50 経口 (マウス): 3,600 mg/kg

LD50 経口 (ウサギ): 6,410 mg/kg

 急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 30 mg/l, 16000 ppm
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気

LC50 (マウス): 53 mg/l

試験環境: 蒸気

急性毒性 (経皮) : LD50 経皮 (ウサギ): 13,400 mg/kg

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15**皮膚腐食性及び皮膚刺激性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**プロパン-2-オール:**

備考 : 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

強い眼刺激。

成分:**プロパン-2-オール:**結果 : 眼に刺激性。
備考 : 眼に永久的な損傷が起こることがある。**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露眠気又はめまいのおそれ。
臓器 (中枢神経系, 全身毒性) の障害**成分:****プロパン-2-オール:**

アセスメント : 眠気又はめまいのおそれ。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**プロパン-2-オール:**

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質 (反復ばく露) としては未分類。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

詳細情報

製品:

備考 : 過剰暴露により起こりうる症状には、頭痛、めまい、疲労感、吐き気、嘔吐がある。
TLV より著しく高い濃度は、昏睡効果を起こすことがある。
溶剤は皮膚を脱脂することがある。

12. 環境影響情報

Wash Buffer I (WB I)

生態毒性

成分:

塩酸グアニジン:

魚毒性 : LC50 (Leuciscus idus (コイの一種)): 1,759 mg/l
曝露時間: 48 h

微生物に対する毒性 : EC50 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): 89 mg/l
曝露時間: 18 h

環境毒性アセスメント

急性水生毒性 : 本製品には既知の生体毒性は無い。

慢性水生毒性 : 本製品には既知の生体毒性は無い。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

エタノール:

魚毒性 : LC50 (Leuciscus idus (コイの一種)): 8,100 mg/l
曝露時間: 48 h

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 7,100 mg/l
方法: OECD 試験ガイドライン 203
GLP: 非該当

LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 14,200 mg/l
曝露時間: 96 h

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

最大無影響濃度 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): 250 mg/l
方法: OECD 試験ガイドライン 212

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 5,400 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
GLP: 非該当

LC50 (Ceriodaphnia dubia (ミジンコ)): 5,012 mg/l
曝露時間: 48 h

最大無影響濃度 (Ceriodaphnia dubia (ミジンコ)): 9.6 mg/l
曝露時間: 240 h

藻類に対する毒性 : EC0 (Scenedesmus quadricauda (緑藻)): 5,000 mg/l
曝露時間: 7 d

EC50 (Chlorella vulgaris (淡水藻)): 275 mg/l
曝露時間: 3 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

EC50 (Chlorella vulgaris (淡水藻)): 675 mg/l
曝露時間: 4 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 9.6 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 9 d

微生物に対する毒性 : EC0 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): 6,500 mg/l
曝露時間: 16 h

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

成分:

塩酸グアニジン:

生分解性 : 生分解: < 70 %
備考: 生物分解性試験結果によれば本製品は容易に生体内で分解されない。

汚泥処理に対するインパクト : この製品は、前処理（生物学的処理場）なしに水中に放出してはならない。

エタノール:

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

生分解性 : 生分解: 97 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD 試験ガイドライン 301D
備考: 適切な OECD テストでは、易分解性である。

生体蓄積性

成分:

塩酸グアニジン:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 約 -1.7 (20 ° C)

エタノール:

n-オクタノール／水分配係数 : 備考: データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

Lysis/Binding Buffer

生態毒性

成分:

グアニジンチオシアナート:

魚毒性 : LC50 (Poecilia reticulata (グッピー)): 89.1 mg/l
曝露時間: 96 h

最大無影響濃度 (Poecilia reticulata (グッピー)): 25 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia (ミジンコ属)): 42.4 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 6.25 mg/l
曝露時間: 48 h

環境毒性アセスメント

慢性水生毒性 : 長期継続的影響によって水生生物に有害。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

環境に関係する他の生物 : データなし

ポリ (オキシエチレン) = (1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル) フェニル=エーテル:
魚毒性 : LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 4 - 8.9 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 18 - 26 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

環境毒性アセスメント

慢性水生毒性 : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性**成分:**

ポリ (オキシエチレン) = (1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル) フェニル=エーテル:
生分解性 : 生分解: > 60 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テスト ガイドライン 301B
備考: 生物分解性試験結果によれば本製品は容易に生体内で分解されない。

生体蓄積性**成分:****グアニジンチオシアナート:**

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: -1.38

ポリ (オキシエチレン) = (1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル) フェニル=エーテル:
生体蓄積性 : 備考: 生物蓄積は予期されない(log Pow <= 4)。

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15***Proteinase K (PK)*****生態毒性****成分:****プロテイナーゼ K:****環境毒性アセスメント**

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性**成分:****プロテイナーゼ K:**

n-オクタノール／水分配係数 : 備考: データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

Elution Buffer**生態毒性**

データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

他の有害影響
データなし

Wash Buffer III

生態毒性
データなし

残留性・分解性
データなし

生体蓄積性
データなし

土壤中の移動性
データなし

オゾン層への有害性
非該当

他の有害影響
データなし

Magnetic Glass Particles (MGPs) Suspension

生態毒性

成分:

プロパン-2-オール:

魚毒性 : LC0 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 10,000 mg/l
方法: OECD 試験ガイドライン 203

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 12,250 mg/l
方法: OECD 試験ガイドライン 203

LC100 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 15,000 mg/l
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 9,500 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 24 h

藻類に対する毒性 : EC0 (Scenedesmus quadricauda (緑藻)): 1,800 mg/l
曝露時間: 168 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

微生物に対する毒性 : EC0 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): 1,050 mg/l
曝露時間: 16 h

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15**環境毒性アセスメント**

- 土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。
- 環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性**成分:****プロパン-2-オール:**

- 生分解性 : 生分解: 99 %
曝露時間: 11 d
方法: OECD 試験ガイドライン 302
- 生分解: 57 %
曝露時間: 5 d
方法: OECD 試験ガイドライン 302

生体蓄積性**成分:****プロパン-2-オール:**

- n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 0.05

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

- 残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。
- 汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。
空のドラムを燃やしたり、切断トーチを使用しないこと

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15**14. 輸送上の注意****国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

国連番号 (UN number) : UN 3316
国連輸送名 (Proper shipping name) : CHEMICAL KIT
国連分類 (Class) : 9
容器等級 (Packing group) : II
ラベル (Labels) : 9

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 3316
国連輸送名 (Proper shipping name) : Chemical kit
国連分類 (Class) : 9
容器等級 (Packing group) : II
ラベル (Labels) :
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 960
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 960

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 3316
国連輸送名 (Proper shipping name) : CHEMICAL KIT
国連分類 (Class) : 9
容器等級 (Packing group) : II
ラベル (Labels) : 9
EmS コード (EmS Code) : F-A, S-P
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
非該当

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

15. 適用法令**Wash Buffer I (WB I)**

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

関連法規

消防法

第 4 類, 第二石油類, 水溶性液体, (2000 リットル)

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号	含有量 (%)
エタノール	61	>=20 - <30

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	番号
エタノール	61

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

引火性の物

毒物及び劇物取締法

非該当

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 引火性液体類

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: 引火性液体

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

麻薬及び向精神薬取締法

麻薬向精神薬原料

非該当

特定麻薬向精神薬原料

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

DSL : 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに記載されている。

AICS : インベントリーに記載されているか、従っている

NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに記載されているか、従っている

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに記載されているか、従っている

PICCS : インベントリーに記載されているか、従っている

IECSC : インベントリーに記載されているか、従っている

TCSI : インベントリーに記載されているか、従っている

TSCA : TSCA インベントリーに記載されているすべての物質

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15*Lysis/Binding Buffer***関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法**製造等が禁止される有害物**

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法**第1種指定化学物質**

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

化学名	番号	含有量 (%)
ポリ(オキシエチレン)＝オクチルフェニルエーテル	408	20

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

麻薬及び向精神薬取締法

麻薬向精神薬原料

非該当

特定麻薬向精神薬原料

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：

DSL : 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに記載されている。

AICS : インベントリーに記載されているか、従っている

NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに記載されているか、従っている

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに従わない

PICCS : インベントリーに記載されているか、従っている

IECSC : インベントリーに記載されているか、従っている

TCSI : インベントリーに記載されているか、従っている

TSCA : TSCA インベントリーに記載されているすべての物質

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15***Proteinase K (PK)*****関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法**製造等が禁止される有害物**

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

麻薬及び向精神薬取締法

麻薬向精神薬原料

非該当

特定麻薬向精神薬原料

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報 :

DSL : この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに載っていない以下の成分が含まれている。

プロテイナーゼ K

AICS : インベントリーに従わない

NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに従わない

PICCS : インベントリーに従わない

IECSC : インベントリーに記載されているか、従っている

TCSI : インベントリーに記載されているか、従っている

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

TSCA : TSCA インベントリに記載されていない物質

Elution Buffer**関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法**製造等が禁止される有害物**

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

麻薬及び向精神薬取締法

麻薬向精神薬原料

非該当

特定麻薬向精神薬原料

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報 :

DSL : 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに記載されている。

AICS : インベントリーに記載されているか、従っている

NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに記載されているか、従っている

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに記載されているか、従っている

PICCS : インベントリーに記載されているか、従っている

IECSC : インベントリーに記載されているか、従っている

TCSI : インベントリーに記載されているか、従っている

TSCA : TSCA インベントリーに記載されているすべての物質

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15**Wash Buffer III****関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法**製造等が禁止される有害物**

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

麻薬及び向精神薬取締法

麻薬向精神薬原料

非該当

特定麻薬向精神薬原料

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報 :

DSL : 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに記載されている。

AICS : インベントリーに記載されているか、従っている

NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに記載されているか、従っている

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに記載されているか、従っている

PICCS : インベントリーに記載されているか、従っている

IECSC : インベントリーに記載されているか、従っている

TCSI : インベントリーに記載されているか、従っている

TSCA : TSCA インベントリーに記載されているすべての物質

Magnetic Glass Particles (MGPs) Suspension

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

関連法規

消防法

第 4 類, アルコール類, (400 リットル)

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
イソプロピルアルコール	102

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号	含有量 (%)
プロピルアルコール	494	>=90 - <=100

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	番号
プロピルアルコール	494

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

第二種有機溶剤等

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

引火性の物

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 引火性液体類

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: 引火性液体

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

麻薬及び向精神薬取締法

麻薬向精神薬原料

非該当

特定麻薬向精神薬原料

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

DSL : この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに記載していない以下の成分が含まれている。

Magnetic glass particles (MGP)

AICS : インベントリーに従わない

NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに従わない

PICCS : インベントリーに従わない

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

IECSC : インベントリーに従わない
TCSI : インベントリーに従わない
TSCA : TSCA インベントリーに記載されていない物質

Wash Buffer I (WB I)

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H226 引火性液体及び蒸気。
H302 飲み込むと有害。
H315 皮膚刺激。
H319 強い眼刺激。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H336 眠気又はめまいのおそれ。
H350 発がんのおそれ。
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
H372 長期にわたる、又は反復暴露による臓器（肝臓）の障害。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（中枢神経系）の障害のおそれ

注意書き

安全対策:

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P210 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P240 容器を接地すること/アースをとること。
P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

応急措置:

P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。

P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P370 + P378 火災の場合：消火するために乾燥砂，粉末消火剤（ドライケミカル）または耐アルコール性フォームを使用すること。

保管:

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

Lysis/Binding Buffer**GHS ラベル要素**

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H302 + H332 飲み込んだり，吸入すると有害。
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

注意書き

- : **安全対策:**
 P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
 P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 P273 環境への放出を避けること。
 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 応急措置:**
 P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
 P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 P304 + P340 + P310 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
 P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
 P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 保管:**
 P405 施錠して保管すること。
- 廃棄:**
 P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

Proteinase K (PK)

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル

:



注意喚起語

:

危険

危険有害性情報

:

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 H334 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

注意書き

:

安全対策:

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit

版番号
1.4

改訂日:
2019/08/12

前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P280 保護手袋を着用すること。
P284 (換気が不十分な場合)呼吸用保護具を着用すること。

応急措置:

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P342 + P311 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

廃棄:

P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

*Elution Buffer***GHS ラベル要素**

GHS 分類基準に該当しない。

*Wash Buffer III***GHS ラベル要素**

GHS 分類基準に該当しない。

*Magnetic Glass Particles (MGPs) Suspension***GHS ラベル要素**

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H319 強い眼刺激。
H336 眠気又はめまいのおそれ。
H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
H370 臓器（中枢神経系、全身毒性）の障害

注意書き

: **安全対策:**
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15

- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P210 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P240 容器を接地すること/アースをとること。
P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置:

- P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
P370 + P378 火災の場合：消火するために乾燥砂，粉末消火剤（ドライケミカル）または耐アルコール性フォームを使用すること。

保管:

- P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405 施錠して保管すること。

廃棄:

- P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

MagNA Pure 96 DNA and Viral NA SV Kit版番号
1.4改訂日:
2019/08/12前回改訂日: 2018/10/17
初回作成日: 2014/07/15**16. その他の情報**

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; CPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性 (物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 1805